

市議会が「平和宣言」決議

武装化は、國王を戦事の危険に曝け込み、かつ原水爆の悲惨な被害にさらすものであり、また憲法第九条の精神に遺背するものであるたる結果市を核兵器非武装地帯として平和を宣言し日本全土に核兵器使用に強力な法律案を提出するのである。この結果満場一致可決した。

沖繩新刑法に関する反対決議

三、国道未舗装箇所促進についで
① 蔵橋附近より市屋ガード
と至る間の鋪装の件
現在国道は付替工事を実施してお
り、国庫補助による補修工事は出
来ない。実施すれば異常独でや
ねばならぬ。
以上の説明に対し、現在県で計
画舗装を振り替えても未舗装箇所
を実施するより遅く要望した。
② 増水橋附近
現在のところ本年度計画はない。
以上の説明によると現状充電を要望

平和行進
こぼれ話

も大部分おらずばつでん、選族会員などは地盤下組會多數長の西山議員さんはおひいさんなふじやうだ。こがんかとめこそ一番がきに歩きなほりんなんて思ひまどりでんな」
長 越境した。議員団
内通 平和進行参加の鹿屋市議員団は、半田側にバトンを渡そると真横へ通りし歩き続けたが、ふといふを貢ぐこゝの間に大半田市
轟轟な 市の崩端金口で玉名原水協よりバトンを受けた。裏端代表団の後方、園田が縮くでいる。これほかにひと歩くと大半田の沿株を取らざることになる。そこで前半止、越境数百メートル所期の田畠へと進む。駅前における原水協鹿屋支部結成大會終了後、県境に向し沿溝に元氣の出たこと。
から は三五芳呂主支部、地威、主席会

条約改定反対

(一) 面積の割合
 2、家屋移転補償費 一一三万
 田邊加
 3、西原ダード拡幅・カサ上げ
 工事費 担金 一〇八万円追
 加
 現在幅四、五メートルを十一メ
 ートルに拡張する。
 現在高さ三、八メートルを四、
 五メートルにカサ上げする。
 一工事費一、八〇〇万円に対し、
 当市負担金は高率補助を適用し
 一〇八万円を計上した。
 4、西原児童公園八万円追加
 五、失業事業費
 1、ロードドローラ購入費(10
 台) 二五〇万円追加
 半額国庫補助を獲得し、予算化し
 たものであるが、これにより道路
 整備事業の実現促進に大きく役割
 を果すことが出来た。

2、四輪車購入費 五五万円追
 加
 一、一般土木関係 昭和三十四
 年度主要施策
 ① ゲレーダによる道路補修(一
 内内一円) 三七万七千五百円
 ② グリンベルト植樹工事(有
 限) 一万九千七百円
 ③ 小野高架および陣屋敷小路
 路用地買収ならびに補償費 一五
 六万六千円
 ④ 道閑橋改良工事(川音)
 四三万円
 ⑤ 土木災害復旧工事(新井川

①	「平和園」	および八反田川五件)
二	四千坪	
②	雪害復旧關係	
③	日ノ出岡下水道 一丈メートル	原方田二号線下水道 延長三三丈
④	西原八反田線 一丈メートル	原方田二号線下水道 延長三三丈
⑤	公余堂 面積五六一平方メ ートル	面積五六一平方メートル
⑥	井戸改修その他	前田排水路 延長四六八メ
⑦	一トール七題	一トール七題
計	四五五万、一五一田	一五一田
三	都市計画関係	
①	街路事業（荒尾市車場線）	用地買収費 三三四坪六合目
②	敷設整備償費 六四、四 八万四千七〇〇円	三五九方七九〇三田
③	復興事業（北部および昭和 区）	復興事業（北部および昭和 区）
④	街路整備工事（西山大通 五） 五万坪	街路整備工事（西山大通 五） 五万坪
⑤	排水整備工事（西原） 五五万坪	排水整備工事（西原） 五五万坪
⑥	区画整備工事（西原および よび大豐） 五〇万坪	区画整備工事（西原および よび大豐） 五〇万坪
⑦	敷地移転その他補償費（北 部） 一〇万七千坪	敷地移転その他補償費（北 部） 一〇万七千坪
⑧	西原兒童公園施設工事 八 万坪	西原兒童公園施設工事 八 万坪
⑨	公共施設事業	公共施設事業
⑩	用地買収費（八万五千坪、 三年払い最終年） 一五〇	用地買収費（八万五千坪、 三年払い最終年） 一五〇

万田
② 輸送機器地盤調査、給水施
設、電線の埋設、三〇〇万田
四 公道往來整備
第一種二〇九、第一種四〇
一・五〇〇万田
以上の諸施策は三十一年度、当
予算と今後追加予算で重点的
に実施されることと他の他策
の通り諸般整備事項もあるが、そ
ぞれの機関で逐次解消しなけれ
ば出来ない。たとえば万田鉱業所
より当地のさびれ行く状態を如
にして立ち直らせるが、このじ
市当局も真剣に考へ、現在深
団地(二千戸住家)の建設計画、
社(二井)との敷地販賣、10
坪は売買價格だけを残して話合
がすみ、その面では、建設省、
市との合意は要々なれ本年十一
月を回念として本省に認可申請
出来る運びまでになつてしるる
われわれも十分これに対し協力
勢を作らなければ出来ない。
尙歎雪關係につづくは、福岡県
議会鉱雪対策連盟に荒尾市も加
し、現在中央において鉱業法、
鉱法改正に關する活動を行つた
の組織を結成し、その効果的
も上げてゐる。合せて荒尾市に
いたも鉱業被露者組合を設置し
その重要がストに革新議員も參
し、現在对三井と積極的な活動
おこなひう。

四九〇	京で、大阪、東京の移動
七〇一	四月が最も多くこれは時
	を定すもので、その次に
	増となる。
五名	れば、紡績閻工場への輸
	入増
	多くの多いのは鹿児島、
	転入の多いのは鹿児島、
	転出
市町	く、これは後述より生
多くな	市より東京、大阪へ人口
者二九	すと同様、これは現時中
	社会構造のありかたを示
	バロメータである。
者及び金	口埠中の形態を示すもの
加えし	で転出
の件	するに、これは後述より生
活動中	市より東京、大阪へ人口
駅、東	すと同様、これは現時中
埠	社会構造のありかたを示
設置工	バロメータである。
本年度実施する予定であ	三、國道橋梁の補修促進計画
四、四山県境より西原	① 四山県境より西原
の補修	の補修
以上に説明に對して早期	本年度実施計画はない。
望	以上の説明に對して早期
四、二級国道暫定規則	本年度実施する予定であ
五、鹿児島原方田地区	② 鹿児島原方田地区
六、境崎地区	③ 境崎地区
七、宮内出入口	④ 宮内出入口
八、本年は宮内から立体交叉	本年は宮内から立体交叉
九、一〇〇万円の予算で実	・一〇〇万円の予算で実
定である。又事業費は昨	定である。又事業費は昨
年ある。	年ある。
十、土地収等について地元	請があつた。
十一、西原ガード地下カサ	県の設計案と三井の設
十二、単価に差がありまだ話	单価に差がありまだ話
にならぬ。以上の説明	にならぬ。以上の説明

六、瑞穂海岸堤防砂礫壁工事の促進ならびに実験事務所までの補強工事
は工事未実履行部分につづく。
本年は宮内出田分の事務所までの補強工事で、これは建設部である。波受け工事からも実施出来るとの説明に対し定期運輸省への工事促進以上が最近の対応交渉あるが、われわれは眞誠の酒井氏が建設活動して居るので十分すべての懸案事項解決しなければならない。
産業経済費現額一〇、三五〇

現行制度運用 並びに問題点		前回までの現行制度運用	
あり方から一歩 進むべき課題	あり方から一歩 進むべき課題	あり方から一歩 進むべき課題	あり方から一歩 進むべき課題
運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。
運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。
運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。	運行時間程度 の上電気化 路線延長。

出資額	資本額	十萬円
額	額	二十萬円
基本調査費を計上		
次の通り追加更正		
の根本的対策の基		
立の向上と醸の場		
海浴場も開設し		
、その記念行事		
及びサービス業		
額	額	二八、五
額	額	一三、〇
額	額	四〇、五
算額	二八、五	